

田北ビジネス専門学校(大分市)改称へ

ビジネス—IT科創設

DX推進、即戦力を育成

ザイナスアカデミー

大分市のIT企業ザイナスが運営する田北ビジネス専門学校(府内町)が来年4月に名称を「ザイナス—IT専門学校」へ変更し、2024年4月に新学科「ビジネス—IT科」を開設する。デジタルトランスフォーメーション(DX)推進が県内企業でも課題となる中、地域に根差したITデジタル人材の育成を強化する。

田北ビジネス専門学校は学校法人ザイナスアカデミー(江藤稔明理事長)が運営する。17年にザイナス社が田北学院から経営を引き継ぎ、20年から現法人名。新学科では即戦力として活躍できる人材育成を目指し、ザイナス社の現役エンジニアも教壇に立つ。自身が携わった開発プロジェクトを事例に講義する。

「手を動かす」ことに重

点を置き、システム、アプリケーションの開発に取り組みながらプログラミングなどの技術を身に付ける。県内外からゲスト講師も招く。2年間の履修後は提携企業への就職を支援。5年間勤務すると授業料を返還するシステム導入も検討している。

新学科の定員やカリキュラム、授業料は今後詰める。来年6月からはオンライン説明会を開催し、1期生の一般願書受け付け開始は10月を予定。現在ある「国際ビジネス科」と「情報処理科」は維持する。

ザイナスアカデミーは「母体がIT企業であり、後輩の育成に努めたいという思いもあった。ITを担っていく人材が、県内で今後ますます必要になるのは間違いない。人材を送り出し、地域課題解決に貢献したい」と話している。



名称を「ザイナス—IT専門学校」へ変更する田北ビジネス専門学校が入る校舎。「ビジネス—IT科」では地域のITやデジタルを担う人材育成を目指す。19日、大分市府内町

